

飯綱町から見る飯縄山は、均整が取れた美しい形をしています。ひと連なりの山頂をつくる左のピークが飯縄山（標高1917メートル）、そして右のピークがれい せん じ さん靈仙寺山（1875メートル）です。靈仙寺山の東のふもと麓にりょう ぜん じ あと靈仙寺跡があります。

れい せん じ こ靈仙寺湖の近くのしら かの だい白樺台に、一の鳥居

の礎石が残りますが、そこから靈仙寺集落までの古い道は廃道になっています。靈仙寺集落から五輪原を通りぬけると、その先に二の鳥居・前宮・講堂・三の鳥居の礎石が残っています。石水鉢には、室町時代の応永11年（1404）という刻銘があり、今から100年ほど前（明治35年）には500年記念碑が建立されています。また、奥ノ院に向かう石階段と手洗いの水鉢は、上杉氏によって寄進されたと伝えられています。奥ノ院の近くに



かつての面影を残す石段